

保管のしかたと保管時のご注意

- **タイヤラックをご使用の際は、必ず、設置状態を確認し、耐荷重以上の負荷を掛けないでください。**
また、水平で硬いコンクリート等の安定の良い場所でストッパーを掛けてご使用ください。
傾斜地や地面が軟弱な場所、及び、平坦でない場所では、絶対に使用しないでください。
※キャストのストッパーは、水平状態で固定するための物であり、坂道や傾斜で固定するための物ではありません。
- **タイヤは、長期間使用しないで保管すると、油分（オイル）が段々抜けてしまい、コンパウンド（ゴム）が硬くなってしまいます。**保管場所として、直射日光の当たらない涼しい場所に置いてください。
また、屋外に置く場合は、必ず、付属のタイヤカバーをかけ、直射日光や雨水のかからないようにしてください。
※タイヤカバーをかけずに屋外に保管すると、温度変化、湿気、紫外線によりタイヤ、ホイールを痛める原因になります。
- **ホイールとセットになったタイヤを保管してください。**タイヤのみの保管には使用できません。
- **保管タイヤを使用前のご注意**
保管タイヤをご使用の際は、必ず、タイヤの亀裂、変形、劣化、空気圧等を確認の上、ご使用ください。
もし、不明な点があれば、タイヤ専門店にてご相談ください。
※どんなタイヤにも寿命があります。どのように保管していてもタイヤの性能に支障をきたします。ご注意ください。
- **タイヤ、ホイールサイズに関して**
懸架可能なタイヤ、ホイールのサイズは、国産純正サイズ（最大で直径690mm / 幅215mmまで、オフセットは、極端な値でない一般的なものを）を基準としています。国産純正サイズと異なったタイヤ、ホイール、また、特殊なオフセットの場合、本製品では対応できず、タイヤやホイールを傷める場合がありますので、使用をお控えください。
- **タイヤカバーに関して**
付属のタイヤカバーは、懸架可能な最大サイズ（直径690mm / 幅215mm）を基準としておりますので、軽自動車などの小径サイズのタイヤに装着すると生地がたるんだり、余る場合があります。

本体サイズ	約465(W)×1060(H)×465(D)mm	材質	本体：スチール（ポリエステル塗装）
本体重量	約4.3Kg	固定パーツ	ABS樹脂・ポリプロピレン・スチール
耐荷重	最大 80Kg	タイヤカバー	ポリエチレン
タイヤ幅	最大215mmまで	パッケージサイズ	550(W)×130(D)×150(H)mm
タイヤ径	直径 最大690mmまで	JANコード	4 9 06918 204041

※本製品の仕様、及び、カラーは、改良の為、予告なく変更する場合があります。



輸入元 大自工業株式会社

営業本部 〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000-126
TEL.072-976-0101 (代) FAX.072-976-0105

東京支店 〒170-0011 東京都豊島区池袋本町4-37-12-102
TEL.03-3590-6105 / FAX.03-3590-0478

<http://www.daiji.co.jp/> Email info@daiji.co.jp

MADE IN CHINA

2013.11

Meltec
Mechanical
electrotechnics

TR-4

生産物賠償責任(PL)保険付

structure TYRE RACK

耐荷重
最大 **80Kg**
215mm
タイヤ幅
までOK!

タイヤ保管の必需品

取扱説明書

組立式タイヤラック

(軽・小型自動車用)

大切なタイヤを傷めない安心設計!

タイヤを傷めず、コンパクトに保管!

省スペースで夏タイヤとスタッドレスの入れ替えや、普段は使わないタイヤの保管に!



この度は、「TR-4 タイヤラック」をお求め頂きましてありがとうございます。

この取扱説明書は「TR-4 タイヤラック」を正しくご使用いただくためのガイドブックです。

初めてお使いいただく方はもちろん、すでにご使用になられた経験をお持ちの方にも、知識や経験を再確認する上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解の上、正しくご使用くださいますようお願い申し上げます。

また、ご使用の際には、常にこの取扱説明書を手元に置かれて作業されることをおすすめします。

TR-4 ■安全に関するご注意

■安全にお使いいただくために、必ず、お読みください。

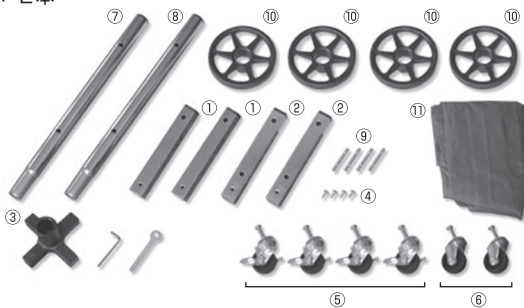
本製品を安全にご使用いただく為、本書をよくお読みいただき、ご理解いただいた上でご使用ください。

尚、取扱説明書以外のご使用、及び、本製品の改造・分解は事故などの原因になります。危険ですので絶対にしないでください。誤った取り扱いにより、事故・故障・損害などが発生し、弊社では一切の責任を負いかねます。また、補償なども一切ありません。

セット内容

- ①ベースバーA(キャスター取付穴1個) × 2本
- ②ベースバーB(キャスター取付穴2個) × 2本
- ③十字ジョイント × 1個
- ④ビス × 4本
- ⑤キャスター(ストッパー付) × 4個
- ⑥キャスター × 2個
- ⑦支柱A(フタなし) × 1本
- ⑧支柱B(フタあり) × 1本
- ⑨円形ストッパー固定ピン × 4本
- ⑩円形ストッパー × 4個
- ⑪タイヤカバー × 1枚

※六角レンチ(組み立て用簡易工具)付属

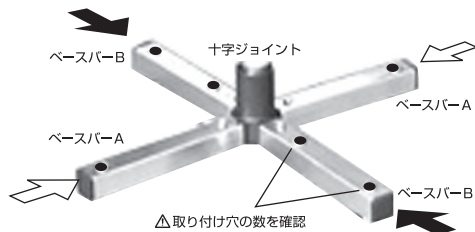


組み立て方法

以下の手順に従って、正しく組み立ててください。(※パーツ名の前の○数字は部品番号を表します。)

手順①

- ①ベースバーA(キャスター取付穴1個)、
 - ②ベースバーB(キャスター取付穴2個)を
 - ③十字ジョイント に差し込み
- 付属のビス(④)を使用して取り付けてください。



ベースバーの取り付け穴を確認し、穴数と同じバー同士を、必ず、対角に取り付けてください。取付位置を誤ると、キャスターが正しい位置に取り付けできず、ご使用の際に、バランスを崩し思わぬ事故につながる恐れがあります。十分にご注意ください。

手順②

- ⑤キャスター(ストッパー付)4個を、
- ベースバーの外側の穴に取り付け、
- バーの内側の穴に⑥キャスターを取り付けてください。



キャスターのストッパーの有無を確認し、正しく取り付けてください。



手順③

～ タイヤの収納方法

- ⑦支柱A(フタのない方が下側になります。)をジョイントにしっかりと差し込んでください。

支柱の取り付けができれば、一番下の支柱の穴に

- ⑨円形ストッパー固定ピンを差し込み、
- ⑩円形ストッパーを取り付けます。(最下段)

円形ストッパーを取り付けたら、タイヤを1本ずつ収納してください。



収納できるタイヤのサイズの目安



※オフセットはリムの中心から、ハブの取り付け面までの距離を表します。あまりに極端な値のホイールは干渉する恐れがあり、お使いいただけない場合があります。

タイヤの収納の手順

- ① 支柱の穴に ⑨円形ストッパー固定ピンを差す
 - ② ⑩円形ストッパーを取り付ける
 - ③ タイヤを1本収納する
- 繰り返す



支柱Aにタイヤを2本収納できたら、

- ⑧支柱B(フタのある方)を、支柱Aに差し込み、同じ手順で、残りのタイヤを収納してください。



必ずタイヤを円形ストッパーの中心に置いて収納してください。収納位置を誤ると、バランスを崩し思わぬ事故につながる恐れがあります。十分にご注意ください。

すべてのタイヤを収納し終わったら、必要に応じて、付属のタイヤカバーを掛けてください。



付属のタイヤカバーは、収納可能な最大サイズを基準としておりますので、小径サイズのタイヤに装着すると生地がたるんだり、余る場合があります。あらかじめご了承ください。

